

# 栃身協たより

第 41 号

発行日 令和 6 年 1 月 1 日  
発行所 栃木県身体障害者団体連絡協議会  
宇都宮市若草 1-10-6  
とちぎ福祉プラザ  
障害者スポーツセンター内  
☎・Fax 028 - 678 - 4401  
E-mail info@tochi-shinkyō.org



## 新年のごあいさつ

栃木県身体障害者  
団体連絡協議会会長  
麦 倉 仁 巳

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃から会員の皆様はじめ関係者の皆様には当会の各種事業にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症も2類から5類に分類され、中止や縮小を余儀なくされていたイベント等も従前の開催が可能となりました。

栃木県民福祉のつどいは各分野の受賞者の出席による表彰式を行い、障害者文化祭（カルフルとちぎ2023こころのつどい）も4年ぶりに従前の規模での開催をすることができました。

また、一昨年開催された「いちご一会とちぎ大会」のレガシーとして選手とボランティア、指導者をつなぐ「とちぎパラスポーツ推進センター」が昨年6月設置されたことは多くの県民にパラスポーツを通じて夢と感動を与え続けることでしょう。

本年4月からは、改正障害者差別解消法が施行されるのに伴い、障害者やその家族からの申し出により民間事業者も合理的配慮が義務化されます。

合理的配慮を享受するためには、私たち障害者も自らの障害を相手に理解していただく必要が生じ、相互理解のうえに住みやすい共生社会が実現するとの自覚が必要となります。

これからも自主事業と併せて県からの委託事業である障害者のための社会参加支援事業や総合相談事業等に取り組んで参りますので、構成団体はじめ関係者の皆様のなご指導・ご支援をお願い申し上げます。

結びに、関係団体の益々のご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたし新年のご挨拶といたします。



## 年頭のごあいさつ

栃木県保健福祉部長  
岩 佐 景 一 郎

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

麦倉会長をはじめ、栃木県身体障害者団体連絡協議会の皆様には、日頃から本県の障害保健福祉行政の推進に御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

県では、障害者のための施策に関する基本的な計画である「とちぎ障害者プラン21（栃木県障害者計画）」に基づき各種施策を推進しているところですが、現行計画の令和5年度末終了に伴い、現在策定を進めている次期計画においては、現行計画の目標である「障害者の自立と社会参加」を継承するとともに、障害の有無に関わらず県民誰もが共に支え合う「共生社会」の実現に向けた道標として、その内容の充実を図って参りたいと考えております。

また、本年4月1日から改正障害者差別解消法が施行されることを踏まえ、事業者による社会的障壁の除去の実施に係る必要かつ合理的な配慮の提供を義務化し、障害を理由とする差別の解消の一層の推進を図るため、栃木県障害者差別解消推進条例を改正しました（令和6年4月1日施行）。この条例改正に合わせて、改めて合理的配慮の考え方や必要性について周知・啓発を図り、より一層の意識の浸透に努めて参ります。

今後とも、障害のある方が地域で安心して豊かに生活を営むことができるよう、様々な支援の更なる充実に取り組んで参りたいと考えておりますので、貴会を始め関係団体の皆様におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますの御発展と会員の皆様のご多幸、御活躍を祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

## 第29回 栃木県民福祉のつどい

令和5（2023）年8月29日（火）に、第29回栃木県民福祉のつどいがとちぎ福祉プラザ多目的ホールにおいて開催されました。

この福祉のつどいは、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」におけるノーマライゼーション社会の実現とソーシャル・インクルージョンの推進に寄与することを目的に開催されました。

今年のはつどいは、2年続いた新型コロナウイルス感染症下での、各表彰分野の代表受領者のみ出席の開催から参加枠を拡大しての開催となりました。栃木県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰ほか4団体による会長表彰が行われ、障害者関係では、栃木県知事表彰5名、栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰13名が受賞されました。



### 栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰受賞者

（敬称略）

#### ☆自立更生者（4名）

大島 英子（宇都宮市）      藤野 邦彦（足利市）      筒井 基枝（さくら市）  
山口 静子（上三川町）

#### ☆更生援護功労者（9名）

落合 明（宇都宮市）      坂本 邦雄（栃木市）      津布楽晴夫（栃木市）  
関口 稔之（佐野市）      福田喜久一（真岡市）      鈴木 弘義（那須塩原市）  
菊地 幸雄（下野市）      直井 一男（市貝町）      増田 國久（壬生町）

#### ○栃身協役員紹介 \*令和5年5月18日から新役員のもと運営しております。

会長 麦倉 仁巳（栃身連）（再）  
理事 白井 新（栃身連）（再）      前田 則隆（栃身連）（再）  
須藤平八郎（栃視協）（再）      渡辺 博之（栃視協）（再）  
篠原 修一（栃聴協）（再）      小川マサエ（栃聴協）（再）  
篠崎 和男（県社協）（再）      小堀 哲生（とちぎ健福協）（再）  
阿久津好彰（栃身協）（新）  
監事 中村 富頼（栃身連）（再）      黒川 昌子（栃視協）（再）  
大島 昭平（栃聴協）（再）  
顧問 上野 治久（県障害）（新）

（敬称略）

## 第26回栃木県障害者文化祭

# カルフルとちぎ

## 2023こころのつどい

令和5（2023）年11月3日（金・文化の日）、とちぎ福祉プラザと障害者スポーツセンターをメイン会場に「カルフルとちぎ2023こころのつどい」が開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小しての開催でしたが、今年は従前に近い形で行われました。県内障害者施設・学校等の皆様による絵画・書・写真・工芸品の作品展示、手工芸品・パン・クッキーなど製作品販売、障害者スポーツのボッチャの体験会、福祉車両展示や障害者団体の活動コーナーなどが設けられました。天候にも恵まれ、多くの方々に来場いただきました。



## 結婚相談所の登録者を募集しています

対象：原則として、県内に在住し結婚を希望する20歳から65歳くらいまでの方。  
費用は無料です。

その他：・女性の登録者が少ないため、女性の方大歓迎です。  
・関東ブロックで行われる交流会に参加できます。

結婚相談以外の総合相談も受け付けています。お気軽にご相談下さい。相談は無料です。

※相談日時：毎週水・金曜日 毎月第2 日曜日（祝日、年末年始は除く）  
午前10時～午後3時  
TEL・FAX 028-623-6353

栃木県身体障害者総合相談所：栃木県身体障害者団体連絡協議会内

### 栃木県身体障害者総合相談所の相談現況（令和4（2022）年度）

#### 1 月別相談件数

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
内訳	男	7	6	13	22	13	5	6	17	11	4	10	20	134
	女	10	9	9	15	18	5	14	16	11	8	18	13	146
														280

#### 2 相談内容別件数

相談内容	就職	年金	手帳	施設入所	法律	介護	住居	結婚	その他	計
件数	10	1	0	4	0	3	0	74	188	280

### 栃木県障害者社会参加推進センター ホームページの紹介

<http://www.tochi-shinkyo.org/>

会員以外にも広く参加を呼びかけたい講演会・研修会・旅行等の行事についてお知らせください。ホームページのイベント情報サイトに掲載します。電話・メール等で御連絡ください。





(4) 栃身協たより

特別全国障害者スポーツ大会

「燃ゆる感動かごしま大会」開催される

新型コロナの影響により令和2（2020）年度に延期となっていた全国障害者スポーツ大会かごしま大会が、鹿児島県において特別大会として開催となりました。

天気にも恵まれ、かごしま大会のスローガン「熱い鼓動 かぜは南から」のもと、選手等は躍動いたしました。

■期日 令和5年10月28日(土)～ 30日(月)

■栃木県選手団の概要

選手数：113名（選手59名 ※うち身体障害者28名、役員54名）

■競技別結果（個人競技の獲得メダル数：金・銀・銅）

○陸上競技（11・4・4）      ○水泳（2・4・5）      ○アーチェリー（1・0・1）

○卓球（5・6・2）      ○フライングディスク（2・4・4）      ○ボウリング（1・0・0）

○ボッチャ（0・0・1）

⇒ ◎合計 57（金22、銀18、銅17）



○お知らせ○

・栃身協職員の変更

事務局長 退職：新村 一男（令和5年3月31日付）

後任：阿久津好彰（令和5年4月1日付）

書記 退職：竹内 亜矢（令和5年10月31日付）

後任：青木 順子（令和5年11月1日付）



この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。